

VOL.
103

日赤の
森

2018
June

【診療科トピックス】

心で味わっていただく「なごみ食」

～栄養課～(2面)



ANAスズラン贈呈式

www.takatsuki.jrc.or.jp

心で味わっていただく「なごみ食」

平成30年3月より開始した新食種のご紹介をします。

「なごみ食」とは化学療法をされている入院患者様を対象にした食事です。化学療法中は薬の副作用により味覚障害・口腔粘膜炎症・嘔気等で食事が食べにくくなり、食べる事を「苦痛」と感じるようになる場合もあります。その状態でもこれなら食べられるというものを見つけて、気持ちが少しでも「和む」という理由からこの名称にしました。

味覚障害等を考えて味付けは少し濃いめにしています。また食欲が低下している時期は提供した食事の量が多いと苦痛に感じる方もおられるため食事量は通常の2/3量程度にしています。

朝食はご飯もの又はパン、昼食はご飯もの又は麺類等それぞれ2種類から選択していただきます。具体的な内容は、親子丼やきつねうどん・天津飯・コロッケパン等イメージしやすい内容にし、昼食は果物やゼリーなどデザートを付けています。昼食と夕食にはご本人様の希望があれば小鉢（野菜もの）の付加も対応します。

野菜の提供量も少なく摂取塩分も多くなるので長期間提供するには不向きな献立ですが、当院としては新しい試みであり患者様の治療の一助になればと考え、皆様に意見をいただいて改善しています。



「なごみ食 メニュー」一例

- ・山菜そば ※中子(なかご)付丼
- ・ねりきり

※麺類・丼ものは麺と汁、ご飯と具を別々に提供出来る「中子付丼」を使用しています。

平成
30年度

研修医のご紹介



Q. どのような医師を目指していますか

研修医 井上 健太郎 Dr



私は子供の頃、今ではあまり考えられないですが身体があまり丈夫でなく、風邪をひきがちでした。そのため病院に行く回数も人より多く、医療関係の方々と触れ合う機会が多く、漠然と皆さんがカッコいいと思っていました。中でもかかりつけのお医者さんが子供の私の話も真剣に聞いてくださり、しっかりと時間をかけて診察をしてくださった姿に心惹かれました。

今はまだ知識も経験も技術もないですが、知識や経験、技術を身につけ、どなたにも優しく真剣に向き合えるような頼りがいのある、子供ながらにでもカッコいいと思えるようなそんな医師になれるよう頑張ります。

その第一歩をこの高槻赤十字病院で踏み出せたことに感謝しております。これからよろしくお願いいたします。

Q. どのような医師を目指していますか

研修医 名古 竜平 Dr



「前進を忘れない」これが私の志す医師像です。

私は大学時代ラグビー部に所属していました。手前味噌ですが、私が所属していたラグビー部は医学部内ではとても強く、同時にとてつもなくしんどい練習の日々をおくっていました。試合中でも練習中でも、そして日常生活でもそうですが、人間さばろうと思えばいくらでもさばれます。試合に勝ちたいという気持ちが無ければ普通の人間は痛い思いをしでタックルしませんし、走り込みでも手を抜けます。しかし、歯を食いしばって痛みを堪え、滴る汗を気にも留めず走りぬくからこそ勝利を手に入れられる。私は大学時代のラグビー経験からそれを実感しました。

医療者も苦しむ患者さんを救いたいという気持ちが無ければ何も為さずに終わってしまうと考えます。患者さんの為、何より自分の為に「前進を忘れない」医師に成りたい。

Q. どのような医師を目指していますか

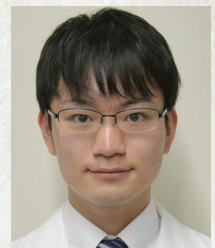
研修医 江田 哲信 Dr



私は5歳から剣道をなっており、大学まで20年剣道と向き合ってきました。先生から頂いた教えのなかに守破離という言葉があります。基本という型をとにかく守って守って、基本を習得したから、型を破り離れ自分流がありえる、と私は解釈しております。医者として成長していく中で、上級医から教えていただく基本をとにかく大事に研修し、医療人の基本と考える患者様の心に寄り添える人間であり続けたいと思います。常に基本に立ち返り、必死で働いた末に自分にしかできないことがひとつでも見つければ、幸せです。医の道を謙虚に邁進していきます。

Q. どのような医師を目指していますか

研修医 本橋 和也 Dr



不安を抱えた患者様が、安心して医療を受けられるような医師を目指しています。

病院を訪れる際、患者様は少なからず不安や緊張を抱えています。そこへ医師という「強い立場」から医療を与えるのではなく、心に寄り添い同じ目線の高さから医療を提供する、そういった医療人になりたいと考えております。

簡単でないことは理解していますが、互いに信頼しあえる関係を築けるよう精一杯努力を続けていきます。

地域医療連携機関として登録をいただいている医院をご紹介します。
今後も各先生方との連携を深め、地域住民の皆様の健康を支えていきたいと思ひます。

登録医療機関のご紹介

しみず内科クリニック

〒569-0817 高槻市桜ヶ丘北町6-16 TEL：072-695-3110

◎院長 清水先生からのメッセージ

この度、「医療法人しみず内科クリニック」を平成二十九年七月より開院させて頂きました。私は内科医として卒後20年以上、内科全般について幅広く研修を行ってきました。当クリニックでは最新の超音波エコー機による心臓、腹部、頸動脈超音波検査に加え、特定健診、各種がん検診、睡眠時無呼吸症候群に対する診断治療を受けることが出来ます。また、高槻市では初の「神経内科専門医が常勤するクリニック」として、パーキンソン病や認知症、頭痛、てんかん、脳卒中後の痙縮（こわばり）や顔面けいれんに対するボトックス治療、手足のしびれや痛みなどの治療も行っております。通院困難な方や神経難病の方に対しては訪問診療も行っておりますので、ご依頼頂ければ大切なご家族の「家庭医」として力を尽くして診療に当たらせて頂きます。

当院の場所ですがJR摂津富田駅、阪急富田駅より徒歩3分の便利な立地であり、専用駐車場も6台完備しております。経験豊富なスタッフも揃っておりますのでお気軽にお越し頂ければ幸いです。今後地域の皆様に愛されるよう、暖かい医療の提供に努めて参ります。地域の皆様、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

診療科 内科全般・神経内科・脳卒中内科

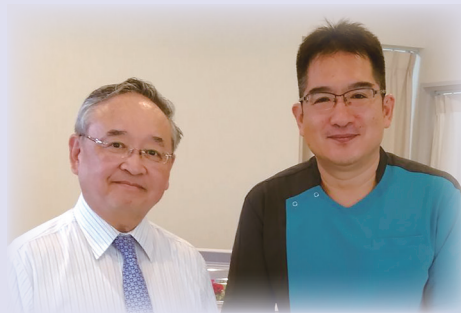
資格・所属学会 医学博士、日本内科学会総合内科専門医/指導医、日本神経学会神経内科専門医/指導医、日本脳卒中学会脳卒中専門医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医、日本プライマリケア連合学会プライマリケア認定医/指導医、日本脳神経超音波学会認定脳神経超音波検査士、日本医師会認定産業医、神経難病指定医、身体障害者福祉法15条指定医、自立支援医療（精神通院医療）指定医、ボツリヌス治療資格保持医

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
17:00～19:30	○	○	○	×	○	×

【休診日】

木曜日午後、日曜、祝日
※往診随時致します



当院玉田副院長

清水院長

登録医療機関のご紹介

たかだクリニック

〒569-1145 高槻市富田丘町2-2 スターシア高槻1F

TEL：072-648-3977

◎院長 高田先生からのメッセージ

平成29年4月11日に、高槻市の摂津富田に整形外科・リハビリテーション科のクリニックを開院させていただきました。JRの摂津富田駅、阪急の富田駅、どちらからも徒歩圏内です。背景に関わらず、リハビリテーションを希望される方は、ご紹介いただければ幸いです。整形外科専門医、リハビリテーション科専門医として誠心誠意対応いたします。

リハビリテーション室には、理学療法士、柔道整復師、アスレチックトレーナーなどの運動器に関わる多数のスタッフが在籍しており、いろいろな角度から患者さんの状況に個別に対応しています。整形外科疾患・リハビリテーションに限らず、一般外傷、リウマチ性疾患、ペインクリニック（各種ブロック、オピオイドのコントロール）、労働災害、交通事故の治療、陥入爪・巻き爪などにも対応いたします。介護分野の専門家とも密に連携をとりたいと考えています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

診療科目 整形外科・リハビリテーション科

資格・所属学会 医学博士、日本整形外科学会（日整会）認定 整形外科専門医、日本リハビリテーション医学会認定 リハビリテーション科専門医、日整会認定リウマチ医、運動器リハビリテーション医、脊椎脊髄病医、スポーツ医、日本プライマリ・ケア連合学会認定 プライマリ・ケア認定医、日本体育協会公認 スポーツドクター、日本障害者スポーツ協会公認 障害者スポーツ医、日本医師会認定 産業医、がん治療認定医、身体障害者福祉法15条指定医、義肢装具適合判定医師、介護支援専門員（ケアマネージャー）

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
16:30～19:30	○	○	○	○	○	×

【休診日】

土曜日午後、日曜、祝日



当院玉田副院長

高田院長

南平台かどたクリニック

〒569-1042 高槻市南平台4丁目14-32 TEL: 072-697-2001

◎院長 角田先生からのメッセージ

昨年の6月に高槻市南平台に『南平台かどたクリニック』を開院させていただきました角田 力(かどた ちから)と申します。

私は大阪府出身で島根医科大学(現 島根大学医学部)を卒業後、関連病院での勤務の後、平成20年からは高槻病院で内科・消化器内科を中心に約9年間勤務してまいりました。これらの診療を通して予防・早期診断・早期治療の大切さをより実感し、かかりつけ医の役割の重要性を改めて認識いたしました。そこで、生活基盤があり、思い入れのあるこの高槻で地域の皆様の健康に貢献したいと考え、開院させていただきました。

当院では胃カメラ・経鼻カメラ、大腸カメラ(日帰り大腸ポリープ切除)、腹部超音波など専門的な検査はもちろん、院内採血、心電図、レントゲン検査、頸動脈エコー、血圧脈波検査(血管年齢/動脈硬化測定)、骨密度測定などの機器も揃えております。また、健康診断(特定健診・法定健診・雇入れ健診など)、がん検診、予防接種なども行っております。

専門分野である胃腸・肝臓・膵臓・胆道疾患のみならず、生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症)をはじめ、風邪や呼吸・循環器疾患、アレルギー疾患などの内科全般の幅広い診療を行い、必要なときは迅速に専門医療機関と連携を取るなど安心・信頼できる医療を丁寧にわかりやすく提供してまいります。

地域の皆様の健康に寄り添い、お役に立てるようスタッフとともに誠心誠意、努力してまいりますので、温かいご支援、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

診療科 内科全般(生活習慣病など)、消化器内科、胃カメラ、大腸カメラ、各種健康診断、がん検診、予防接種

資格・所属学会 内科学会認定医・総合内科専門医/内視鏡学会専門医・指導医、消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本がん治療認定医機構暫定専門医、日本アレルギー学会、厚生労働省臨床研修指導医、身体障害者指定医(大阪市:肝臓機能障害)、難病指定医(大阪府)

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○
16:30 ~ 19:00	○	○	×	○	○	×

【休診日】

水曜日午後、土曜日午後、日曜、祝日



角田院長

当院玉田副院長

まつい血管内科・静脈瘤クリニック

〒569-1123 高槻市芥川町1丁目11-2 OSAKAYAビル3F

TEL: 072-686-6000

◎院長 松井先生からのメッセージ

当院は主に下肢静脈瘤を中心に診療を行うクリニックです。足の諸症状、特に下肢静脈瘤でお困り、ご不安の方がいらっしゃればご相談ください。脚の血管が浮き出ている、脚がむくむ、脚が重く感じる、脚の疲れ、脚の痛み、脚のこむら返り(つり)、脚のかゆみ、脚のむずむず感、脚の皮膚の色素沈着などの原因となる下肢静脈瘤について、超音波診断装置を用いて検査をし、レーザー治療をはじめとした以下の治療法を組み合わせ治療いたします。

【下肢静脈瘤の治療法】

○圧迫療法(保存的治療) ○血管内レーザー治療(EVLT) ○静脈瘤切除術(STAB AVULSION) ○硬化療法
地域の皆様へ貢献できればと考えております。宜しくお願い申し上げます。

診療科 下肢静脈瘤レーザー治療、血管内科

資格・所属学会 医学博士、下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医、日本IVR学会専門医、日本医学放射線学会診断専門医、日本静脈学会会員

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	○	○	×	○	○	○
13:00 ~ 17:00	手術	手術	×	手術	手術	×
17:30 ~ 19:00	○	×	×	○	×	×



当院小林部長

松井院長

【休診日】水曜日・日曜・祝日

【手術日】月曜日・火曜日・木曜日・金曜日
13:00~17:00



平成29年度 患者満足度調査結果報告



高槻赤十字病院患者サービス向上委員会

当院は、患者の皆さんが当院の医療やサービスをどのように評価し、また、どのような医療・サービスを必要としているかご意見をいただき、より満足度の高い病院となれるよう努めていきたいと考えております。そこで、入院及び外来の患者さまを対象に、患者満足度調査を実施いたしました。



調査実施の状況

- 1) 調査日
入院：10月18日（水）
外来：11月21日（火）・22日（水）
- 2) 調査票配付と回収
入院：298名配付 156名回収 回収率 52.3%
外来：343名回収

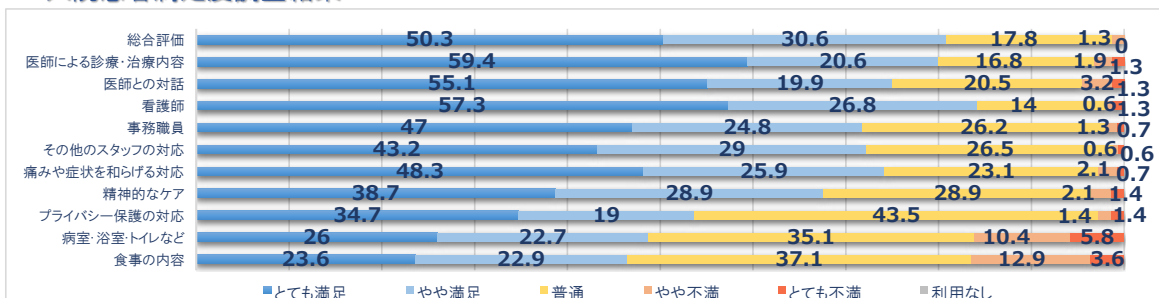


調査結果について

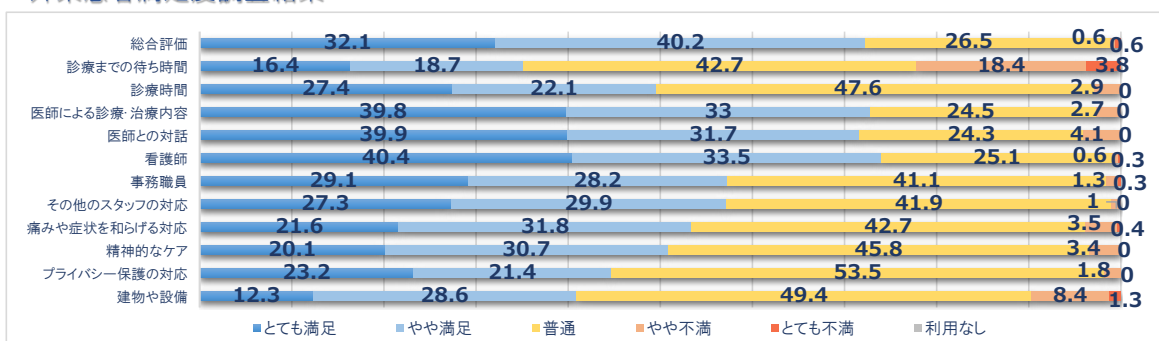
入院・外来ともに、看護師をはじめとする職員の対応において、高い評価をいただきました。自由記載では、「感謝している」「満足している」「親切」等の記載がありました。病院の雰囲気も「安心感がある」「やさしい」「あたたかい」と表現していただきました。

しかし、低い評価として、入院では、「病室・浴室・トイレなどの施設・設備面」、「食事の内容」、外来では、「診察までの待ち時間」と「建物や設備」等がありました。自由記載でも、「トイレを洋式やウォシュレットにしてほしい」「待ち時間が長い」や、職員の対応に対して、数名の方から「説明や配慮に欠ける」と指摘がありました。

■ 入院患者満足度調査結果



■ 外来患者満足度調査結果



調査結果への対応

良い評価や指摘を受けた職員の対応については、真摯に受け止め、引き続き職員一人ひとりのレベルアップに努めてまいります。また、建物や設備のハード面においては改善が難しく、ご不自由をお掛けする点が多々あると思いますが、ご要望を謙虚に受け止め可能な限り改善に努めてまいりますので、ご理解の程よろしくお願いたします。

ANAすずらん贈呈

社会課長 濱田健司

今年で63回目を迎える「すずらんの贈呈」です。毎年、ANAグループの方々が全国の赤十字病院を訪問し入院患者さんたちに「すずらんの栞」をお渡ししています。1階外来待合フロアで、記念の贈呈式が行われ、病院を代表して、古川院長、千葉副院長、松井副院長兼看護部長に客室乗務員から、すずらんの鉢植えを手渡されました。その後、客室乗務員たちは、病棟に移り、入院患者さん一人一人に「すずらんの栞」を、手渡されました。患者さんたちは、とても喜んでおられました。



家庭で役立つ薬の話

知ってるようで知らない…

ステロイドの塗り薬ってどうなの？

薬剤部 奥村 優介

ステロイドの塗り薬と聞いてみなさんはどう思いますか？「使って大丈夫なの？」「こわいから他の薬に変えてほしい！」と思われる方もいるでしょう。

ステロイド薬は、副腎から作られる糖や電解質を調節するホルモンの改良型で、抗アレルギー作用や抗炎症作用があることで知られています。ステロイドの塗り薬には5段階の強さがあり、基本的には吸収率の高い顔などには弱めの薬を、体などには中程度の強さの薬を使います。また、症状によっては強めの薬を使うことや、子どもには1段階弱い薬を使うことがあります。医師はこれらを考慮して薬を選び処方しています。

自己判断で塗るのをやめたり、塗る回数を減らしたりすると、逆に症状が長期化してしまうことがあるので、医師の指示通り決められた回数を使い、しっかり炎症を抑えて治すことがポイントです。

不安があれば、医師または薬剤師に相談してください。

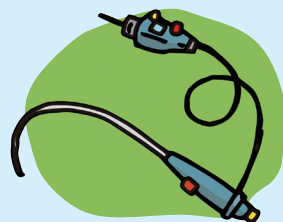
茨木市民 公開講座報告

社会課長
濱田健司



【知っておきたい!お腹のお話し】

3月17日(土)に、ホテルクレストいばらき(茨木市)で当院消化器科の先生方によるセミナーを開催しました。題して、「知っておきたい!お腹のお話し」。今回、消化器科部長兼内視鏡センター長の神田先生と若手のホープ池田先生にご講演頂きました。神田先生は、内視鏡で出来る手術のお話しや、今までお腹を開いて手術していた事が、内視鏡で出来るようになり、患者さんへの負担も軽減されていること、池田先生は、大腸の話で、治療の進歩の事などをとても解りやすく講演されました。



かわいい作品に心が癒されます

【ギャラリーコーナー紹介】

当院では、外来患者様への“癒し”や“和やかな雰囲気”の空間”を提供することを目的として、外来1階フロアに「ギャラリーコーナー」を開設しています。

ボランティアの方から寄せられた季節ごとの写真や絵画等を展示しています。



ご出展に関してのお問い合わせは、
医療社会事業部社会課
(072-696-0571【内線】481)まで。



※ギャラリーでは皆さまからの
作品を広く募集しています。

平成29年度 一般社団法人日本損害保険協会寄附金購入機器報告

平成29年7月に一般社団法人日本損害保険協会から「交通災害等救急医療機器整備事業」として約726万円の寄附金交付を受けモニタリングシステム(セントラルモニタ1台、ベッドサイドモニタ6台)を整備しました。



セントラルモニタ CNS-6201

本機器は、患者さまのベッドサイドで測定された心電図、血圧、心拍数等の生体情報を、ナースステーション等で集中して管理するためのモニターです。離れた場所の患者さまの容態を常にチェックし、異常があればアラームで伝え、状態が急変した患者さまがどの位置に居るかを知らせる位置情報機能が搭載されています。最大16人までの管理が可能なモニタリングシステムとなっています。

ベッドサイドモニタ BSM-6301

本機器は、マルチコネクタにより、測定されているパラメータを自動認識できます。また、BISを始め、様々なパラメータが測定可能です。数値と波形を同列に表示し、見やすくかつ使いやすい画面構成です。数値のみのパラメータを画面下に配置したL字型レイアウトも可能です。最大20床分の他モニター情報を同時に参照可能なインターベッド機能が搭載されています。任意のベッドを選択し、波形情報の確認も容易にできます。

緩和ケア病棟ボランティア公開講座のご報告

2月14日（水）に開催した緩和ケア病棟ボランティア公開講座では十数名の参加者が来られ、熱心に講座内容を聞かれていました。

緩和ケア病棟のボランティア希望者を対象とした講座でしたが参加者からの質問も多く飛び交い、充実した講座となりました。

今後も継続的に公開講座を開催してまいりますのでみなさんのご参加をお待ちしております。

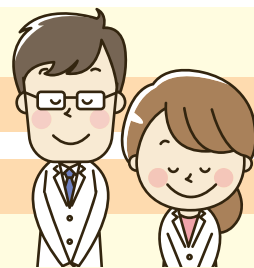


天理教ひのきしん

社会課長 濱田健司

4月29日に、「天理教ひのきしん」によるボランティア活動が行われました。この日の活動は、全世界的に行なわれており、海外でも実施されています。当日は、晴天に恵まれ暑い程で、水分補給や休憩を摂りながら病院敷地内の清掃（草刈り）を行いすっきりとしました。清掃の合間には、鼓笛隊による演奏やバトン・トワリングなどが催され楽しいひとときとなりました。

ご寄付ありがとうございます



当院への施設指定寄付金としてご寄付をいただきました方々のご芳名の許可をいただき、この度、総合案内付近 陶板「ソルフェリーノの丘」の横に掲示を始めさせていただきました。

ご寄付いただきました皆様に改めて厚く御礼申し上げます。



おすすめ レシピ

- ・サーモンワイン風味ピラフ
- ・ミニトマト塩麴サラダ
- ・春キャベツのスープ
- ・果物

材料(1人分) プラス麦ご飯で食物繊維量UP!

<サーモンワイン風味ピラフ>

米	37.5g(1/4合)	水	7cc
押し麦	37.5g(1/4合)	マギーブイヨン	1g
銀鮭	60g	濃口醤油	0.8g
たまねぎ	50g	ローリエ	
トマト	50g	ドライパセリ	適量
生姜	5g	レモン	10g
オリーブオイル	2g	<果物>	
白ワイン	25g	パイナップル	75g

<ミニトマト塩麴サラダ>

ミニトマト	50g
塩麴	4g

<春キャベツのスープ>

春キャベツ	50g
人参	20g
ごぼう	20g
マギーブイヨン	1g
胡椒	適量

作り方

サーモンワイン風味ピラフ(一人分)

- ① 米、押し麦は合わせて洗いザルにあげておく。
- ② 野菜を切る。 生 姜…よく洗い皮ごとみじん切り。
トマト…皮を湯むきし、種をとり、さいの目切り。
玉ねぎ…みじん切り。
- ③ 厚手の鍋にオリーブオイルと生姜を入れ弱火で加熱する。
- ④ ③の鍋から生姜の香りがしてきたら玉ねぎを加え炒める。
- ⑤ 玉ねぎが半透明になってきたらトマトを加え炒める。
- ⑥ 米、白ワイン、水、マギーブイヨンを入れる。
- ⑦ ⑥に鮭をのせローリエをいれ蓋をして中火で加熱する。
- ⑧ ⑦が沸騰したら弱火で13分から15分炊く。
- ⑨ ⑧を10分から15分蒸らす。
- ⑩ レモンをくし切りにしておく。
- ⑪ ⑨を混ぜ合わせる。
- ⑫ 皿に盛り付けレモンを添える。お好みで
レモンを絞ってお召し上がりください。



エネルギー 550kcal 炭水化物 88.7g たんぱく質 20.2g
脂質 11.5g 塩分 1.9g 食物繊維 9.2g



ウォーキングがてらピクニックへ!

緑がきれいな季節となりました。

今回はピクニックのお供にして頂けそうな献立の提案です。
ピラフなどの一品料理は塩分、油脂分が多い物がおおく、早食い
しやすい料理が多いので注意が必要です。

今回のピラフは麦と米を同量入れることで食物繊維量のアップ
を図っています。

ご 飯 150g 食物繊維 0.4g
麦ご飯 150g(米:麦=1:1) 食物繊維 3.5g

また、生姜の香りやトマトの旨みを利用し塩分控えめでも美味し
く召し上がって頂けるように工夫をしています。(1人分塩分 0.8g)

ありがとうございました ～病院へのご寄付～

平成30年4月12日(木) 株式会社セレマ代表取締役の齋藤武雄様から高槻赤十字病院に寄付金を頂戴いたしました。(株)セレマでは医療と連携しながら地域への社会貢献を模索しておられるとのことで、継続的に当院へご寄付をお寄せいただいています。

今回のご寄附も患者様へより良い医療を提供するために大切にに使わせていただきます。株式会社セレマ様ありがとうございました。



新

シャトルバスのご案内



平成30年6月からJR総持寺駅まで経路が延びました！
30分に1便の運行に増発しました！

昨年9月から運行開始したシャトルバスが6月1日から新たに総持寺駅を経由する循環バスとなりました。また、これまで1時間に1便の運行でしたが、30分に1便と増発しました。

(詳細はホームページ、または外来掲示・チラシをご覧ください。)

患者さま、ご面会の方の利便性の向上につながることを期待しています。どうぞご利用ください。

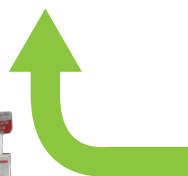
【JR総持寺駅】



【JR摂津富田駅】



【高槻赤十字病院】



● 巡礼橋

● 岡本

がん患者サロン開催のお知らせ

『がん患者サロン』は、がん患者さまやご家族が語り合い交流できる場です。
「誰かと話したいな…」「他の人はどうしているのかな…」という時、
一人で悩まないでお気軽に、ちょっと立ち寄ってみてください。

対象 がん患者さま、ご家族 (他院通院中の方も参加可)

開催日時 毎月 第3水曜日 13時～15時 (出入り自由)
13:00～13:30 ミニ講座
13:30～15:00 フリー座談会

場所 高槻赤十字病院2階 がん相談支援センター

申し込み
不要



お問合せ先

高槻赤十字病院
平日9時～16時

医療社会事業部 地域医療連携課
TEL:072-696-0571 (代表)

がん相談支援センター

平成30年度 夏期（7月～9月）糖尿病教室のご案内

◆年間テーマ “四季使える糖尿病教室”

当院では、糖尿病学会認定の専門医、糖尿病療養指導士、管理栄養士等が中心となり、市民の皆様が日常生活の中で正しい知識をもって健康管理が行えるよう、お手伝いさせて頂いております。
毎月開催される当院の糖尿病教室を是非お役立て下さい。

◎ 日 時 夏期 7月～9月 11時～13時20分(受付は10時30分から開始)
◎ 場 所 当院3階 第一会議室・講義室 ※ 講師、テーマは予告なく変更する場合があります

(注1) 参加者多数の場合は、未受講者の方を優先させていただきます。(定員20名)

(注2) 受講を取り消される場合は、必ず一週間前までにご連絡ください。

※ お車で来院し受講される方は、駐車券をお持ちになってご来場ください。

時間	7月10日(火)	8月14日(火)	9月11日(火)
11:00～11:20	糖尿病との付き合い方 糖尿病・内分泌・生活習慣病科部長	糖尿病とくすり 薬剤師	患者体験談 意見交換会
11:20～11:40	糖尿病について 糖尿病療養指導士	糖尿病の検査について 臨床検査技師	糖尿病について 糖尿病療養指導士
11:40～12:00	食事療法 1 管理栄養士	食事療法 2 管理栄養士	食事療法 3 管理栄養士
12:00～12:45	糖尿病食試食会		
12:45～13:00	休 憩		
13:00～13:20	ミニ健康講座 糖尿病と外科手術 消化器外科医師	ミニ健康講座 糖尿病と運動 理学療法士	ミニ健康講座 糖尿病と呼吸器疾患 呼吸器科医師

主 催：高槻赤十字病院

受 講 料：お食事代実費800円(税込)を当日に頂きます。 つり銭のないようにご準備ください。

※ 申込書にご記入のうえ、医療社会事業部社会課までご持参くださるか、お電話にてお申込ください。

〒569-1096 高槻市阿武野1丁目1番1号 072-696-0571 (内線 481 番)



当院のフェイスブックをご覧ください。 Facebookは病院ホームページ及び
URL[<https://www.facebook.com/takatsuki.rc.hosp>]から閲覧出来ます。

高槻赤十字病院の理念

私たちは人道・博愛の赤十字精神に基づき、高度で安全な医療を提供し、地域の人々が誇りにする病院となるよう努めます。

高槻赤十字病院の方針

1. 患者さまの人権と意思を尊重し、患者さま中心の医療をおこないます。
2. 一人ひとりの患者さまを全職員が支援する、チーム医療をおこないます。
3. 患者さまのホームドクターと緊密に連携し、地域で完結する医療をおこないます。
4. 常に向上心と研究心を持ち、最高最善の医療が実現できるように努めます。
5. 健全な病院経営と地域に貢献できる医療従事者の育成に努めます。
6. 災害救護活動をはじめとする赤十字に課せられた使命を果たします。



日本赤十字社 高槻赤十字病院
Japanese Red Cross Society

〒569-1096 大阪府高槻市阿武野1-1-1
TEL 072-696-0571(代表)
URL:<http://www.takatsuki.jrc.or.jp>
mail:trc@takatsuki.jrc.or.jp
発行責任者 事務部長 河野 龍一



人間ドック・健診施設機能評価認定施設